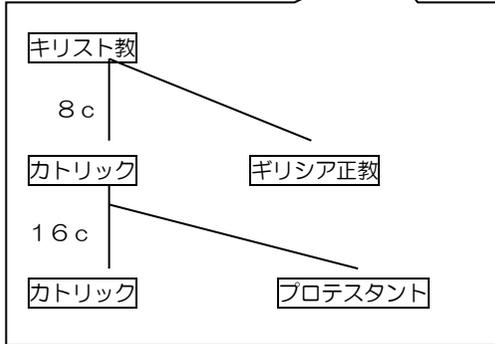


本時の目標：ヨーロッパの再編、ロシアの動きを掴もう。

クリミア戦争と列強体制の緩和

(1) ロシア・・・コシュートによるハンガリーの民族運動を制圧、「1 \_\_\_\_\_」と呼ばれる⇒ニコライ1世は南下政策を推進  
 オスマン帝国内のギリシア正教徒保護を理由にオスマン帝国と開戦



ロシア・・・2 \_\_\_\_\_ 教  
 オスマン帝国・・・3 \_\_\_\_\_ 教  
 オスマン帝国内にいるギリシア正教徒を保護するということを口実に宣戦。

● なぜ、これらの国が支援したのか考えてみよう。

(2) 4 \_\_\_\_\_ 戦争 (1853年～1856年)

ロシア側 VS オスマン帝国側

支援国	支援国なし	
-----	-------	--

- ① クリミア半島の5 \_\_\_\_\_ 要塞攻防戦でロシア敗北 (★場所の確認)  
 1815年以来のヨーロッパの大国間の戦争となり60万の戦死者を出し、ロシアの敗北で終わった  
 6 \_\_\_\_\_ による傷病兵の看病⇒赤十字のきっかけとなる。
- ② 7 \_\_\_\_\_ 条約 (1856年) で、ロシアは黒海中立化とロンドン条約 (1840年) を再確認

(3) 影響・・・ロシアは国内改革に専念⇒列強の共同行動は困難となり、列強体制の規制ゆるむ  
 各国家が自由に行動できる国際状況が生まれ、国家統一をめざす戦争や紛争が多発

MEMO

## ●【自由課題】

ロシアは黒海からの南下政策を封じられたが、今後どのように南下政策を推進したのか予想してみよう

## □ロシアの改革

(1) 8 \_\_\_\_\_ 令 (1861 年)・・・9 \_\_\_\_\_ が農奴に人格的自由を認める。

⇒土地は貴族領主から買い戻す必要があり、多くが農村共同体<sub>10</sub> \_\_\_\_\_ に引き渡される

<sub>11</sub> \_\_\_\_\_ 反乱 (1863 年～64 年) ⇒専制政治再び強化

(2) <sub>12</sub> \_\_\_\_\_ (知識人階級)・・・急進的な改革の担い手

⇒「ヴ=ナロード (<sub>13</sub> \_\_\_\_\_)」を掲げて農村に入りこみ

<sub>14</sub> \_\_\_\_\_ (人民主義者) と呼ばれる。

農民を啓蒙することで、農村共同体を基礎に社会主義の実現をはかるが、失敗

⇒失望した一部の者は、<sub>15</sub> \_\_\_\_\_ (暴力主義) でアレクサンドル2世や政府高官を暗殺

目標の達成度を5段階で評価しよう。

1——2——3——4——5

○本時の感想と疑問点を記述してください。